

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団の認知度向上及び将来の担い手育成事業

自治体名

福島県相馬市

消防団名

相馬市消防団

1 事業の目的・必要性

子供用防火服を整備することで、防火訓練や放水体験等の実施を通して消防団の認知度を向上するとともに、若い世代へ消防団の加入促進や次世代の消防団員の確保を図ることを目的とする。

2 事業内容

- 1 市内小学校の防火訓練時に、子供用防火服を着用した放水訓練を実施し、消防団活動のPRを行う。
- 2 自主防災訓練や出前講座で、参加児童に子供用防火服を用いた消防団なりきり体験を実施し、消防団の認知度向上、将来の担い手育成及び保護者の消防団加入に繋げる。

3 事業成果

市内小・中学校の防火訓練に消防団員も参加し、放水訓練に加え、防火衣等を着用して放水体験等を実施。生徒は、水圧の凄さや防火衣の着心地を実感し、「消防団として活躍する地域の人を尊敬する。大きくなったら消防団に入りたい。」などの声を聞くことができた。今後も訓練を継続し、更なる消防団の認知度向上及び将来の担い手育成につなげていきたい。

また、市内小学校の出前講座や自主防災訓練で子供用防火服を用いた消防団なりきり体験を実施。防火衣を着用した我が子を目にした保護者へも、消防団への加入を促すことができた。出前講座後はアンケートを実施。消防団を知ることができたが98%、消防団に興味が出たが88%を達成。今後も消防団のPRをすることで消防団員の確保等につなげていきたい。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
防火訓練	回数	9回	7回	
自主防災訓練	回数	5回	8回	
出前講座	回数	0回	4回	

5 その他参考情報



小学校の防火避難訓練に消防団が参加し、生徒が防火衣を着用し放水体験を行っている様子

小学校の出前講座に出向き、消防団なりきり体験を行っている様子

自主防災訓練参加児童が防火衣を着用し、保護者とともに常備消防から消火器の使用方法を教わっている様子